

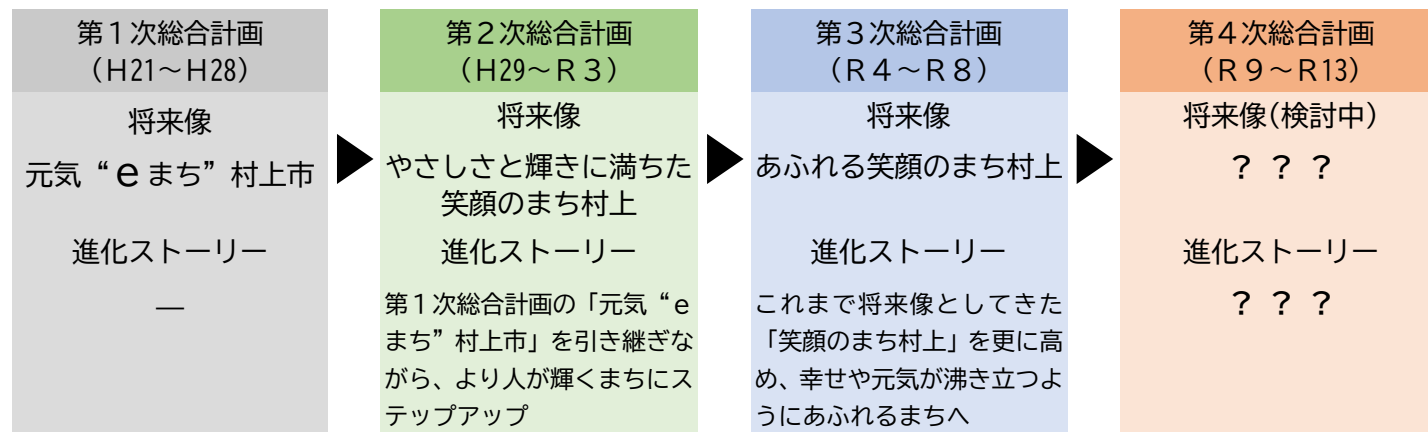
第 4 次村上市総合計画 【将来像】 【進化ストーリー】 【基本理念の意味】 意見提出様式

方向性や考え方を整理するため、委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、村上市の未来に向けた想いや大切にしたい視点などについて、ご意見・アイデアをお書きください。

■ これまでの総合計画の流れ(概要)

※進化ストーリーとは…

これまでの将来像の流れを踏まえ、次の時代へどのように発展・進化させていくかを示す考え方です。



【基本的な考え方】これまでの流れを「継承」しながら、社会構造の変化（人口減少・高齢化・分野横断など）に対応する「進化」を検討し、次のステージへつなげていきます。

■ 現在の基本理念(第 3 次総合計画)とその意味(参考)

創	誇りを育む 人材を育てる 産業を育てる 伝統を育む …
育	物事を創り出す 食を創る 賑わいを創る 芸術を創る …
広	笑顔を広げる 交流を広げる 多方面に展開する 将来につなげる …

■ ご意見をご記入いただく際のポイント(参考)

①将来像について

- ・目指す未来の姿のキーワードは？
- ・どのようなまちが望ましいか？
- ・どんな言葉がふさわしいか？

②進化ストーリーについて

- ・これまでの流れを踏まえ、どのように進化すべきか？
- ・特に重視すべき視点は？

③基本理念の意味について

- ・それぞれの意味をどうとらえるか？
- ・どのように見直し、深化させるか？
- ・新たに加える視点はあるか？



委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、ご意見、アイデアをお書きください。

1 将来像について

村上市が目指すべき未来の姿として、どのようなまちが望ましいとお考えですか。

(イメージや大切にしたいこと、入れたい言葉など)

誇り（自然、食材、歴史など多くの財産を持っていることを地元住民や移住者が誇りと思えることが大事だと思います）

2 進化ストーリーについて

これまでの将来像の流れを踏まえ、第 4 次総合計画ではどのように“進化”していくべきだとおもいますか。

(例：人口減少への適応、若者の定着、分野横断による課題解決、地域産業の発展、支え合いの深化など)

村上の魅力を再発見し、誰もが誇りをもち、笑顔があふれるまちへ

3 基本理念「創る・育む・広げる」の意味について

これからの時代において、「創る・育む・広げる」をどのように捉え、どのような意味を込めていくべきだと思いますか。

(例：新たな価値・仕組みを「創る」、人材・地域・産業を「育む」、分野横断・連携・共生へ「広げる」 など)

地域資源の新たな価値や魅力を創る
新たな価値や魅力を伝える人を育む
新たな価値や魅力を市内外に広げる

4 「笑顔」という言葉について

「笑顔」を将来像にどう位置づけるべきか、どのようにお考えですか。

- ☒ 引き続き使用した方がよい
 ☐ 形や表現を工夫して残した方がよい
☐ 必ずしも使用しなくてもよい
 ☐ その他

理由やご意見があればご記入ください。

5 その他、ご意見・アイデア

将来像・進化ストーリー・基本理念に関して、上記以外にご意見やアイデアがありましたらご自由にご記入ください。

第 4 次村上市総合計画

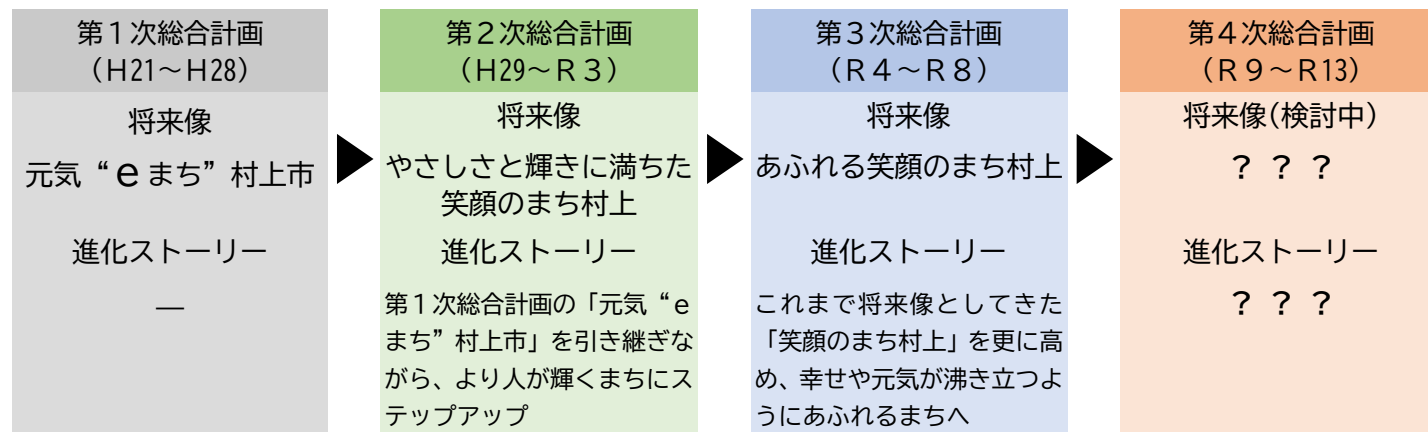
【将来像】 【進化ストーリー】 【基本理念の意味】 意見提出様式

方向性や考え方を整理するため、委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、村上市の未来に向けた想いや大切にしたい視点などについて、ご意見・アイデアをお書きください。

■ これまでの総合計画の流れ(概要)

※進化ストーリーとは…

これまでの将来像の流れを踏まえ、次の時代へどのように発展・進化させていくかを示す考え方です。



【基本的な考え方】これまでの流れを「継承」しながら、社会構造の変化（人口減少・高齢化・分野横断など）に対応する「進化」を検討し、次のステージへつなげていきます。

■ 現在の基本理念(第 3 次総合計画)とその意味(参考)

創	誇りを育む 人材を育てる 産業を育てる 伝統を育む …
育	物事を創り出す 食を創る 賑わいを創る 芸術を創る …
広	笑顔を広げる 交流を広げる 多方面に展開する 将来につなげる …

■ ご意見をご記入いただく際のポイント(参考)

①将来像について

- ・目指す未来の姿のキーワードは？
- ・どのようなまちが望ましいか？
- ・どんな言葉がふさわしいか？

②進化ストーリーについて

- ・これまでの流れを踏まえ、どのように進化するべきか？
- ・特に重視すべき視点は？

③基本理念の意味について

- ・それぞれの意味をどうとらえるか？
- ・どのように見直し、深化させるか？
- ・新たに加える視点はありますか？



委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、ご意見、アイデアをお書きください。

1 将来像について

村上市が目指すべき未来の姿として、どのようなまちが望ましいとお考えですか。

(イメージや大切にしたいこと、入れたい言葉など)

暮らしたいまち、帰りたいまちというイメージ

村上市で生まれた方が引き続き村上市内に住み続けたいと思える、市外の方が村上市内で住みたいと思える環境を整える意味で、「暮らしたいまち」。進学や就職などで若者が市外へ転出してしまふことは仕方がない部分はあるので、市外へ転出した方が帰ってきたいと思う魅力（豊かな自然環境、清潔感があり整った景観、就労環境、イベント等）を創るという意味で、「帰りたいまち」

2 進化ストーリーについて

これまでの将来像の流れを踏まえ、第 4 次総合計画ではどのように“進化”していくべきだとおもいますか。

(例：人口減少への適応、若者の定着、分野横断による課題解決、地域産業の発展、支え合いの深化など)

全ての世代に活躍の場があり、活力があふれるようなイメージ。若者の活力が高齢者へ、高齢者の活力が若者へ伝播することで、魅力的なまちになると思いました。

3 基本理念「創る・育む・広げる」の意味について

これからの時代において、「創る・育む・広げる」をどのように捉え、どのような意味を込めていくべきだと思いますか。

(例：新たな価値・仕組みを「創る」、人材・地域・産業を「育む」、分野横断・連携・共生へ「広げる」 など)

ほかの自治体にはない先進的な仕組みを創る
優れた教育環境を育む
視野を広げる

4 「笑顔」という言葉について

「笑顔」を将来像にどう位置づけるべきか、どのようにお考えですか。

- ☐ 引き続き使用した方がよい
 ☐ 形や表現を工夫して残した方がよい
☒ 必ずしも使用しなくてもよい
 ☐ その他

理由やご意見があればご記入ください。

特定のワードの使用に縛られると、目指すべき将来像に縛りが出てしまうと思います。最終的に「笑顔」が残るのであればいいですが、あくまでも自由な発想で検討した方がいいように感じます。

5 その他、ご意見・アイデア

将来像・進化ストーリー・基本理念に関して、上記以外にご意見やアイデアがありましたらご自由にご記入ください。

第 4 次村上市総合計画

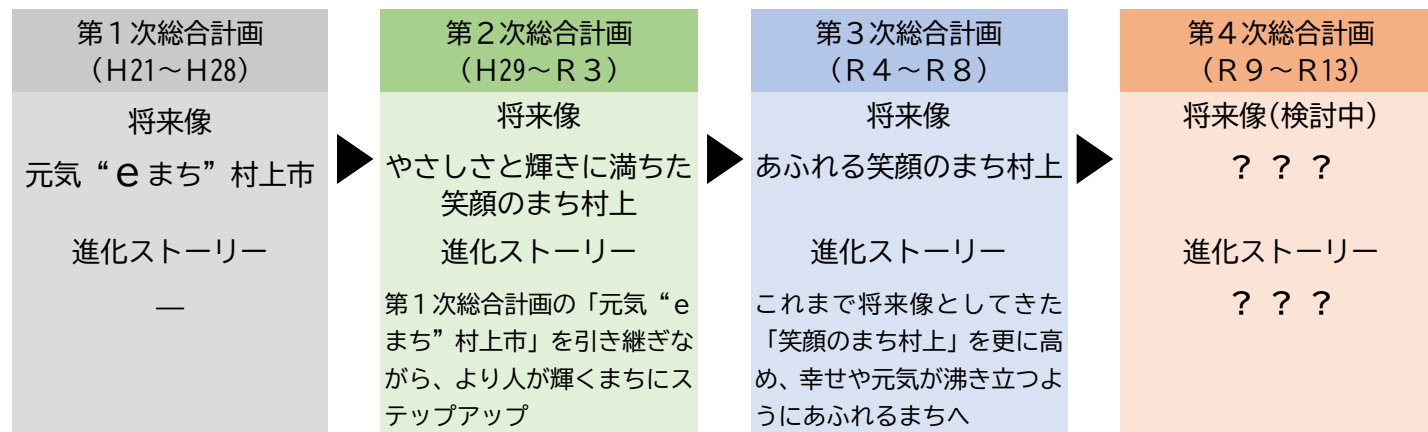
【将来像】 【進化ストーリー】 【基本理念の意味】 意見提出様式

方向性や考え方を整理するため、委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、村上市の未来に向けた想いや大切にしたい視点などについて、ご意見・アイデアをお書きください。

■ これまでの総合計画の流れ(概要)

※進化ストーリーとは…

これまでの将来像の流れを踏まえ、次の時代へどのように発展・進化させていくかを示す考え方です。



【基本的な考え方】これまでの流れを「継承」しながら、社会構造の変化（人口減少・高齢化・分野横断など）に対応する「進化」を検討し、次のステージへつなげていきます。

■ 現在の基本理念(第 3 次総合計画)とその意味(参考)

創	誇りを育む 人材を育てる 産業を育てる 伝統を育む …
育	物事を創り出す 食を創る 賑わいを創る 芸術を創る …
広	笑顔を広げる 交流を広げる 多方面に展開する 将来につなげる …

■ ご意見をご記入いただく際のポイント(参考)

①将来像について

- ・目指す未来の姿のキーワードは？
- ・どのようなまちが望ましいか？
- ・どんな言葉がふさわしいか？

②進化ストーリーについて

- ・これまでの流れを踏まえ、どのように進化すべきか？
- ・特に重視すべき視点は？

③基本理念の意味について

- ・それぞれの意味をどうとらえるか？
- ・どのように見直し、深化させるか？
- ・新たに加える視点はあるか？



委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、ご意見、アイデアをお書きください。

1 将来像について

村上市が目指すべき未来の姿として、どのようなまちが望ましいとお考えですか。

(イメージや大切にしたいこと、入れたい言葉など)

本市の最重要課題は人口減少であると考えているが、行政の雰囲気はこの問題に正面から取り組むことを回避しているように感じる。これはたいへん残念なことである。本市が自治体として持続していくために、人口減少に取り組む本市の基本姿勢を総合計画に示してほしい。

また、村上には様々な魅力、資源があるものの、その事実があまり認知されていないと感じる。行政が村上の魅力、資源を再確認し、情報発信していくことで、市民の本市に対する肯定感を育むとともに、本市を訪れたい、住んでみたいと感じる人を増やす取り組みが必要だと思う。

2 進化ストーリーについて

これまでの将来像の流れを踏まえ、第 4 次総合計画ではどのように“進化”していくべきだとおもいますか。

(例：人口減少への適応、若者の定着、分野横断による課題解決、地域産業の発展、支え合いの深化など)

本市の最重要課題である人口減少に分野横断、官民協働で取り組む。
移住増加を重要なねらいとして本市の魅力発信に取り組む。

3 基本理念「創る・育む・広げる」の意味について

これからの時代において、「創る・育む・広げる」をどのように捉え、どのような意味を込めていくべきだと思いますか。

(例：新たな価値・仕組みを「創る」、人材・地域・産業を「育む」、分野横断・連携・共生へ「広げる」など)

現時点では回答を保留します。

4 「笑顔」という言葉について

「笑顔」を将来像にどう位置づけるべきか、どのようにお考えですか。

- ☐ 引き続き使用した方がよい
 ☐ 形や表現を工夫して残した方がよい
☒ 必ずしも使用しなくてもよい
 ☐ その他

理由やご意見があればご記入ください。

具体的な取り組みに基づかない、根拠のない曖昧な目標は避けたい。ただ雰囲気を醸成するだけの表現を使用することは避けたい。

5 その他、ご意見・アイデア

将来像・進化ストーリー・基本理念に関して、上記以外にご意見やアイデアがありましたらご自由にご記入ください。

魅力ある村上と市民の暮らしを象徴的に伝えるモデル・ストーリーを編成し、広く情報発信する。

第 4 次村上市総合計画

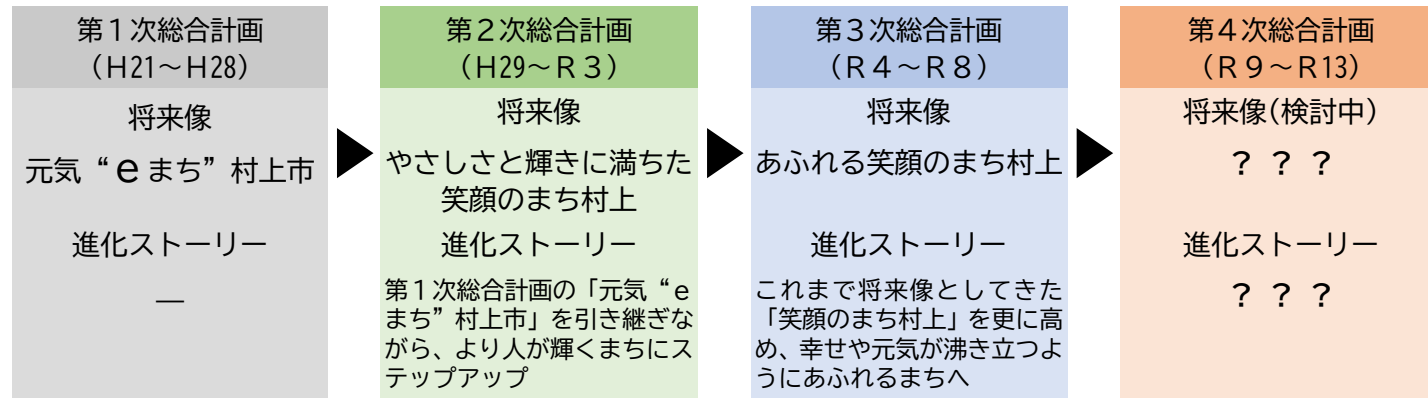
【将来像】 【進化ストーリー】 【基本理念の意味】 意見提出様式

方向性や考え方を整理するため、委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、村上市の未来に向けた想いや大切にしたい視点などについて、ご意見・アイデアをお書きください。

■ これまでの総合計画の流れ(概要)

※進化ストーリーとは…

これまでの将来像の流れを踏まえ、次の時代へどのように発展・進化させていくを示す考え方です。



【基本的な考え方】これまでの流れを「継承」しながら、社会構造の変化（人口減少・高齢化・分野横断など）に対応する「進化」を検討し、次のステージへつなげていきます。

■ 現在の基本理念(第 3 次総合計画)とその意味(参考)

創 る	誇りを育む 人材を育てる 産業を育てる 伝統を育む …
育 む	物事を創り出す 食を創る 賑わいを創る 芸術を創る …
広げる	笑顔を広げる 交流を広げる 多方面に展開する 将来につなげる …

■ ご意見をご記入いただく際のポイント(参考)

①将来像について

- ・目指す未来の姿のキーワードは？
- ・どのようなまちが望ましいか？
- ・どんな言葉がふさわしいか？

②進化ストーリーについて

- ・これまでの流れを踏まえ、どのように進化すべきか？
- ・特に重視すべき視点は？

③基本理念の意味について

- ・それぞれの意味をどうとらえるか？
- ・どのように見直し、深化させるか？
- ・新たに加える視点はありますか？



委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、ご意見、アイデアをお書きください。

1 将来像について

村上市が目指すべき未来の姿として、どのようなまちが望ましいとお考えですか。
(イメージや大切にしたいこと、入れたい言葉など)

- ・ 子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らし続けられるまち
- ・ 若者が住み続けたい、そして一度離れても帰ってきたくなるまち
- ・ 豊かな自然や伝統文化を守りながら、新しい挑戦が生まれるまち
- ・ 地域で支え合い、孤立する人がいない温かいまち
- ・ 医療・福祉・教育が充実し、健康で活力あるまち
- ・ 地域資源を生かし、次世代につなげる持続可能なまち

2 進化ストーリーについて

これまでの将来像の流れを踏まえ、第 4 次総合計画ではどのように“進化”していくべきだとおもいますか。
(例：人口減少への適応、若者の定着、分野横断による課題解決、地域産業の発展、支え合いの深化など)

村上市はこれまで、豊かな自然や地域のつながりを大切にしながら、農林水産業や観光を基盤として発展してきました。一方で、人口減少や少子高齢化、担い手不足などの課題が深刻化しています。これからは、「守るべきものを守りながら、新しい価値を生み出すまち」へ進化することが求められます。

具体的には、

- ・ 「人口を増やす」ことだけを目標にするのではなく、人口が減少しても持続できる地域づくりへ転換する。
- ・ 行政だけでなく、市民・企業・地域団体が連携し、みんなで支えるまちづくりを進める。
- ・ 自然や伝統を守りながら、デジタル化や新しい働き方を取り入れ、変化に対応できる地域へ進化する。
- ・ 「福祉」「教育」「産業」「観光」を個別に考えるのではなく、地域全体でつながるまちづくりを進める。

3

基本理念「創る・育む・広げる」の意味について

これからの時代において、「創る・育む・広げる」をどのように捉え、どのような意味を込めていくべきだと思いますか。
(例：新たな価値・仕組みを「創る」、人材・地域・産業を「育む」、分野横断・連携・共生へ「広げる」など)

①それぞれの意味をどうとらえるか

【安心・安全】

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられること。

災害対策だけでなく、医療・介護・福祉・子育てなど、生活基盤全体を支えることを意味する。

【人と地域のつながり】

地域コミュニティや世代間交流を通じて、互いに支え合う関係を築くこと。

人口減少が進む中で、地域の絆はさらに重要な資源となる。

【自然との共生】

海・山・川の豊かな自然を守り、その恵みを暮らしや産業、観光に活かしながら次世代へ継承すること。

【活力・挑戦】

変化を前向きに捉え、新しい産業や働き方、地域づくりに挑戦し続けること。

「現状維持」ではなく、「変化に適応し進化する力」を持つことが重要である。

【人づくり】

②どのように見直し、深化させるか

これまでの基本理念は「発展」を前提としてきた側面があるが、今後は人口減少社会を見据え、

「拡大」から「持続」へ

「行政主導」から「共創」へ

「個別最適」から「地域全体最適」へ

という視点への転換が必要である。

③新たに加える視点はありますか

①持続可能性(サステナビリティ)

人口減少や財政制約の中でも、将来世代へ豊かな地域をつないでいく視点。

②健康・ウェルビーイング

単に病気がない状態ではなく、身体的・精神的・社会的に豊かな生活を送れること。

③共創(Co-creation)

行政だけではなく、市民、企業、学校、地域団体が一緒になって地域をつくること。

④デジタル・DX

デジタル技術を活用し、暮らしや行政サービスの利便性を向上させること。

⑤多様性・包摂(インクルージョン)

年齢、性別、障がいの有無に関わらず、誰もが活躍できる地域を目指すこと。

4

「笑顔」という言葉について

「笑顔」を将来像にどう位置づけるべきか、どのようにお考えですか。



引き続き使用した方がよい



形や表現を工夫して残した方がよい



必ずしも使用しなくてもよい



その他

理由やご意見があればご記入ください。

「笑顔」は親しみやすく、温かいイメージを与える一方で、

- ・ 抽象的で、具体的な政策や方向性が見えにくい
- ・ 多くの自治体で使われており、村上市らしさが出しにくい
- ・ 将来像としては、「何を指すまちなのか」が伝わりにくい

という側面もあります。

むしろ、村上市の将来像としては、

- ・ 持続可能性
- ・ 人と自然の共生
- ・ つながり・支え合い
- ・ 安心して暮らし続けられること
- ・ 未来への継承

といったキーワードの方が、これからの人口減少社会を見据えると重要ではないでしょうか。

5

その他、ご意見・アイデア

将来像・進化ストーリー・基本理念に関して、上記以外にご意見やアイデアがありましたらご自由にご記入ください。

第 4 次村上市総合計画

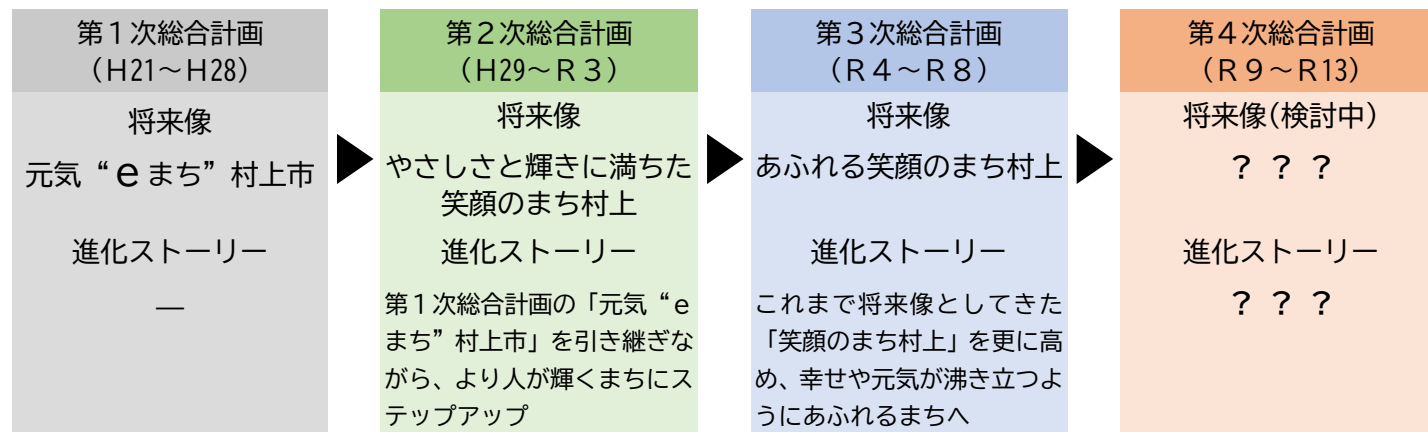
【将来像】 【進化ストーリー】 【基本理念の意味】 意見提出様式

方向性や考え方を整理するため、委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、村上市の未来に向けた想いや大切にしたい視点などについて、ご意見・アイデアをお書きください。

■ これまでの総合計画の流れ(概要)

※進化ストーリーとは…

これまでの将来像の流れを踏まえ、次の時代へどのように発展・進化させていくかを示す考え方です。



【基本的な考え方】これまでの流れを「継承」しながら、社会構造の変化（人口減少・高齢化・分野横断など）に対応する「進化」を検討し、次のステージへつなげていきます。

■ 現在の基本理念(第 3 次総合計画)とその意味(参考)

創 る	誇りを育む 人材を育てる 産業を育てる 伝統を育む …
育 む	物事を創り出す 食を創る 賑わいを創る 芸術を創る …
広げる	笑顔を広げる 交流を広げる 多方面に展開する 将来につなげる …

■ ご意見をご記入いただく際のポイント(参考)

①将来像について

- ・目指す未来の姿のキーワードは？
- ・どのようなまちが望ましいか？
- ・どんな言葉がふさわしいか？

②進化ストーリーについて

- ・これまでの流れを踏まえ、どのように進化すべきか？
- ・特に重視すべき視点は？

③基本理念の意味について

- ・それぞれの意味をどうとらえるか？
- ・どのように見直し、深化させるか？
- ・新たに加える視点はあるか？



委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、ご意見、アイデアをお書きください。

1 将来像について

村上市が目指すべき未来の姿として、どのようなまちが望ましいとお考えですか。

(イメージや大切にしたいこと、入れたい言葉など)

「将来像の考え方」については、第 3 案に近い 「心つながる希望のまち村上」

2 進化ストーリーについて

これまでの将来像の流れを踏まえ、第 4 次総合計画ではどのように“進化”していくべきだとおもいますか。

(例：人口減少への適応、若者の定着、分野横断による課題解決、地域産業の発展、支え合いの深化など)

人口減少のなかではつながりが重要になり、これが希望や笑顔につながっていくと考えます。

3 基本理念「創る・育む・広げる」の意味について

これからの時代において、「創る・育む・広げる」をどのように捉え、どのような意味を込めていくべきだと思いますか。

(例：新たな価値・仕組みを「創る」、人材・地域・産業を「育む」、分野横断・連携・共生へ「広げる」 など)

これまでの基本理念の意味にプラスして、「つながりを「創る」、つながりを「育む」
つながりを「広げる」

4 「笑顔」という言葉について

「笑顔」を将来像にどう位置づけるべきか、どのようにお考えですか。

☐ 引き続き使用した方がよい

☐ 形や表現を工夫して残した方がよい

☒ R 必ずしも使用しなくてもよい

☐ その他

理由やご意見があればご記入ください。

「笑顔」は 2 期続いたので、「笑顔」にこだわなくても良いのではないかと思います。

5 その他、ご意見・アイデア

将来像・進化ストーリー・基本理念に関して、上記以外にご意見やアイデアがありましたらご自由にご記入ください。

第 4 次村上市総合計画

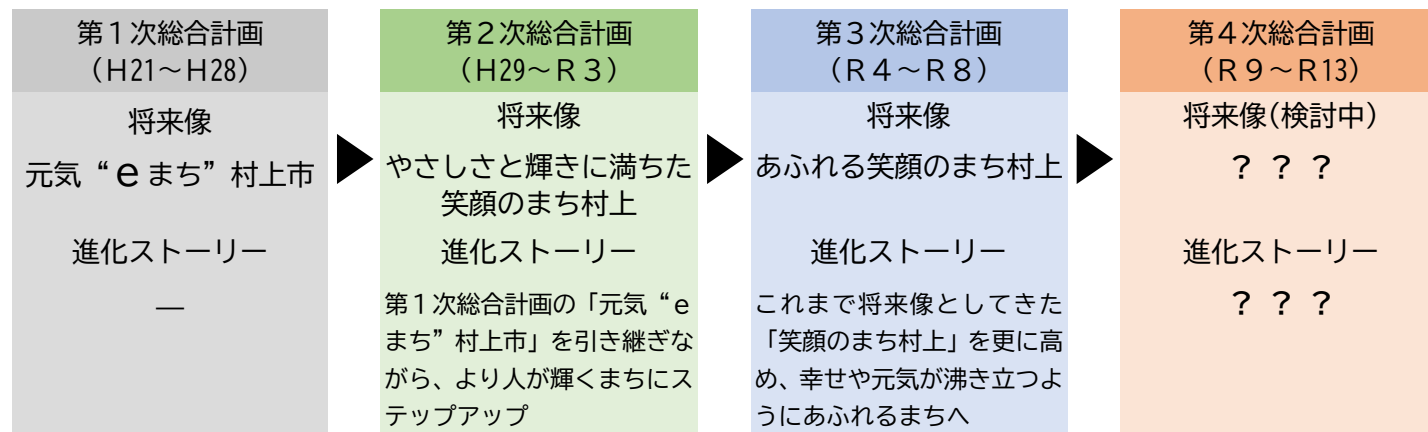
【将来像】 【進化ストーリー】 【基本理念の意味】 意見提出様式

方向性や考え方を整理するため、委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、村上市の未来に向けた想いや大切にしたい視点などについて、ご意見・アイデアをお書きください。

■ これまでの総合計画の流れ(概要)

※進化ストーリーとは…

これまでの将来像の流れを踏まえ、次の時代へどのように発展・進化させていくかを示す考え方です。



【基本的な考え方】これまでの流れを「継承」しながら、社会構造の変化（人口減少・高齢化・分野横断など）に対応する「進化」を検討し、次のステージへつなげていきます。

■ 現在の基本理念(第 3 次総合計画)とその意味(参考)

創 る	物事を創り出す 食を創る 賑わいを創る 芸術を創る …
育 む	誇りを育む 人材を育てる 産業を育てる 伝統を育む …
広げる	笑顔を広げる 交流を広げる 多方面に展開する 将来につなげる …

■ ご意見をご記入いただく際のポイント(参考)

①将来像について ・目指す未来の姿のキーワードは？ ・どのようなまちが望ましいか？ ・どんな言葉がふさわしいか？	②進化ストーリーについて ・これまでの流れを踏まえ、どのように進 化すべきか？ ・特に重視すべき視点は？	③基本理念の意味について ・それぞれの意味をどうとらえるか？ ・どのように見直し、深化させるか？ ・新たに加える視点はありますか？
---	---	--



委員それぞれのお立場やご経験を踏まえ、ご意見、アイデアをお書きください。

1 将来像について

村上市が目指すべき未来の姿として、どのようなまちが望ましいとお考えですか。

(イメージや大切にしたいこと、入れたい言葉など)

- ・あふれる笑顔が 未来へつづくまち 村上
- ・笑顔あふれる 未来へはばたくまち 村上
- ・あふれる笑顔で 未来へ挑戦するまち 村上
- ・あふれる笑顔で 未来に希望が持てるまち 村上

「笑顔」と「未来」のフレーズを入れたいと思います。

2 進化ストーリーについて

これまでの将来像の流れを踏まえ、第 4 次総合計画ではどのように“進化”していくべきだとおもいますか。

(例：人口減少への適応、若者の定着、分野横断による課題解決、地域産業の発展、支え合いの深化など)

- ・これまでの総合計画の取組を引継ぎつつ、未来（将来）を思い描けるまちへ進化する
- ・村上市は無くなならない！持続可能的に未来へ続くのだ！と希望が持てるまちへ進化する

- ・子育て、健康、就労、地域事業、観光など横断的な取組みによる相乗効果による進化が必要
- ・「私たちの村上市が本気で動いてくれている」と市民が実感できるシステム作り

3 基本理念「創る・育む・広げる」の意味について

これからの時代において、「創る・育む・広げる」をどのように捉え、どのような意味を込めていくべきだと思いますか。

(例：新たな価値・仕組みを「創る」、人材・地域・産業を「育む」、分野横断・連携・共生へ「広げる」 など)

- ・創る：人の流れ 賑わい 暮らしやすさ 地域のきずな
- ・育む：子ども 人材 地域経済 生活 文化 伝統
- ・広げる：交流 認知度・知名度 ターゲット 意識

4 「笑顔」という言葉について

「笑顔」を将来像にどう位置づけるべきか、どのようにお考えですか。

- ☒ 引き続き使用した方がよい
 ☐ 形や表現を工夫して残した方がよい
☐ 必ずしも使用しなくてもよい
 ☐ その他

理由やご意見があればご記入ください。

- ・これまでの総合計画との継続性の意味でも継続した方が良いと思う
- ・「笑顔」という言葉は誰でもイメージしやすい良い言葉だと思う

5 その他、ご意見・アイデア

将来像・進化ストーリー・基本理念に関して、上記以外にご意見やアイデアがありましたらご自由にご記入ください。

- ・先日の専門部会で『村上市を観光に特化して！』といった意見がありました。他県の実際の成功事例もあり、思い切って舵を切る事は大変興味深いと感じました。但し、例えば同じ商業分野でも観光では恩恵を受けない業種や、何かに特化するという事はその分野に「ひと・もの・かね」を掛けることとなるため、市民の反発も大きいと思います。
- ・反面、“誰も取り残さない”ためには、まんべんなく取組む必要がありますが、起爆剤にはならず、変化には繋がりにくいと思います。
- ・全ての分野で必要な取組みは実施しつつ、その中でもウエイトを掛ける分野を選定する。特にウエイトを掛けて取り組む分野については、村上市民が誰でも知っている状況を作る。市民の誰もが「今、村上市が特に力を入れているのは“観光”だね」と理解できるような情報発信・情報共有。
- そして、単に「ひと・もの・かね」を掛けるのではなく、様々な手法やアイディアで最大限の成果を上げることが理想だと思います。

意見提出様式以外でいただいた主な意見

—— 第1回審議会・口頭

問題点の解決だけでなく、地域の可能性を伸ばす視点も総合計画には重要

一般論だが、「課題の解決」という言葉を使う場合、マイナスを減らす、場合によってはゼロにするということが課題の解決。日本社会においては課題の解決というと、これをなくしていく方ばかり見ているが、プラスをさらに伸ばしていくということも課題の解決である。

前者を問題点というのであれば、後者は可能性である。論者により使い方は違うが、両方あるということである。今度総合計画を作るに際しては問題点ばかりでなく、可能性をさらに伸ばす対策も盛り込む、そういう視点も必要ではないかなと思う。

人口減少を前提にしつつ、将来への希望を感じられる計画とすることが重要

これまで、子育て関係をはじめとした様々な審議会に関わってきた。例えば、保育園等の施設整備のあり方を検討する会議では、人口減少を前提として、施設をどのように縮小・再編していくかという議論になることが多かった。人口減少や地域の縮小を避けられない前提として議論を進める場面に、これまで数多く関わってきた。

そのような中で、市民委員等からは、「後ろ向きな計画ばかりで残念である」「将来に希望を持てる要素を盛り込んでほしい」といった意見が出されることが多かった。

今回の総合計画の審議においても、人口減少や地域の縮小を一定の前提として議論を進めるのか、あるいは、その中にどの程度希望や前向きな要素を盛り込んでいくのかが重要な課題になると感じている。

市民が希望を失うような計画ではなく、将来に希望を持てる内容を盛り込んでいくことが重要であると考えている。

人口減少を前提としつつ、市民が希望を持てる持続可能な地域づくりが重要

人口を増やすことのみを目的とした計画ではない。ご指摘のとおり、人口減少そのものを止めることは容易ではなく、その状況を前提として地域社会をどのように維持・発展させていくかが重要になる。また、人口が減少する中でも、市民がどのように希望を持てるかという点については、委員として議論していかなければならない課題であると思う。

その上で、市民が希望を持てる計画とはどのようなものか、委員の皆様にも考えていただきたい。

資料4上段右側の最後に「人口減少を前提に、持続可能な地域社会へ」と記載されているが、持続可能な地域社会へ変化していくこと自体が、市民にとって希望を実感できる姿の一つではないかなと思う。

私が住んでいる地域も、まさに人口減少が進んでおり、街を見渡すと空き家が増え、地域の活力が低下していると感じる場面がある。

そのような中でも、現在暮らしている地域に希望を持てることや、日々の生活の中で前向きな気持ちになれるような地域環境へ変化していくことが大切ではないかなと思う。誰もが安心して気持ちよく暮らせる地域であることが重要であると感じている。

一方で、現状としては、まだそのような実感を十分に持てていない部分もあると感じている。

働く場の確保に加え、安心して暮らせる環境づくりが重要

データからは、大きく二つの視点が見えてくるのではないかなと思う。

一つは、市内または周辺地域に働く場があること、もう一つは、アンケート結果にも表れている「安心して暮らせること」である。たとえば仕事のために市外や近隣地域へ通う場合であっても、村上市で安心して暮らせるという実感を持てることは重要ではないかなと思う。

先ほど申し上げた消防救急分野については、緊急時に対応してもらえるという安心感から一定の満足度がある一方で、日常生活においては、かかりつけ医や産科医療などに不安を感じている人もいるのではないかと、このデータを見て感じた。

そのため、「安心して暮らせること」は、今後のまちづくりにおいて重要な要素になるのではないかなと思う。

移住・定住促進には、情報提供と情報発信の充実が重要

人口が増加するかどうかという点については、増加へ転じさせることは容易ではないと思う。これは村上市に限らず、人口減少の流れに抗い、人や子どもの数を増やしていくことは全国的にも難しい課題であると感じている。

そのような中で、どのような取組が必要かを考えた際、今回特に印象に残ったのは、資料6のヒアリング結果における、移住者からの「情報不足」に関する意見である。

具体的には、空き家情報が不足していることや、移住後に必要となる情報が十分に得られないこと、情報発信が弱いことなどが挙げられていた。

こうした情報提供や情報発信の充実は、比較的取り組みやすい分野ではないかなと思う。実際に村上市で暮らしたいと考えて移住してきた方々に対し、必要な情報を適切に届けることで、安心感や定住意識につながる部分も大きいのではないかと感じた。

少なくとも、「情報が不足していることで困る」という状況を減らしていくことができれば、暮らしやすさや幸福感的向上にもつながるのではないかなと思う。

歴史・伝統・文化の継承は、地域の希望と次世代への継承につながる

環境、持続可能性、労働環境、安心、情報といった視点に加え、別の観点として、次世代へ引き継ぎたくなる文化や歴史を持っていることも重要ではないかなと思う。

そのような地域資源があることで、子どもや孫の世代へ村上を引き継いでいきたいという意識につながり、それが地域への希望にも結び付くのではないかと考える。

たとえば人口減少が進み、いわゆる限界集落と呼ばれる地域であっても、そこに先人から受け継がれてきた歴史、伝統、文化、習俗が存在していれば、「自分の代で終わらせるのではなく、次の世代へつないでいきたい」という思いが生まれる可能性がある。

その担い手は、地域外から来た人や、これまで縁のなかった若者であるかもしれないが、そのような人たちが地域に関わることで、地域に新たな希望が生まれるのではないかなと思う。

歴史、伝統、文化、習俗といったものも、地域に希望を持たせる重要な要素になり得ると考えている。これは私自身の意見である。

村上市らしい「なんとかなるさ」の考え方

人口減少など厳しい状況の中でも、悲観しすぎるのではなく、「村上市に住んでいればなんとかなる」と思える安心感を大切にしながら、村上市らしく前向きに捉え、乗り越えていく「なんとかなるさ」という考え方も大切ではないか。